

「時限付き分科細目」と基盤研究(B・C)(特設分野研究)の比較

	時限付き分科細目	特設分野研究(新設)
目的・対象	<p>学術研究の動向に柔軟に対応するため、設定期間を限って流動的に運用するための細目で、「①既存の細目で対応できない新たな研究分野」又は「②既存の細目で対応することは可能であるが、別の体系でまとめた方が、より適切な審査を行うことができる研究分野」が対象</p>	<p>未開のまま残された重要な分野、技術の長足な進歩によって生まれつつある分野、分野横断的な研究から生まれることが期待される分野が対象</p>
応募対象種目	<p>基盤研究(C) 応募総額：500万円以下 研究期間：3～5年</p>	<p>基盤研究(B) 応募総額：2000万円以下 基盤研究(C) 応募総額：500万円以下 研究期間：3～5年【募集年度によって異なる】</p>
重複制限対象種目	<p>【基盤研究(C)と同様の重複制限を適用】</p> <p>〔特別推進研究、基盤研究(S)、基盤研究(A・B・C)(一般)、挑戦的萌芽研究、若手研究(A・B)の研究代表者〕</p>	<p>特別推進研究、基盤研究(S)、新学術領域研究(研究領域提案型)の計画研究の研究代表者</p>
審査方法	<p>書面審査と合議審査を別の審査委員が行う。</p>	<p>書面審査と合議審査を同一の審査委員が行う。</p>
分野設定数	<p>毎年度3～4分野程度</p>	<p>毎年度3分野程度 (1分野あたり設定期間：原則5年)</p>
制度の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 原則3年間の設定期間終了後、応募件数が100件程度あったものは細目表に採用される。 細目表に採用されるだけの応募(研究者からの当該細目への需要)があるかを見極めるため試行的に細目を設定しているため、比較的少額の研究費を交付している。 	<ul style="list-style-type: none"> JSPSが採択者や当該分野に関心を持つ者が交流する機会を提供する。 一定期間対象分野を集中的に支援するため、比較的中規模の研究費を交付する。